

これで完璧！庄内平野の自然条件①

↑ 雪の積もる鳥海山

↑ 最上川

山形県の庄内平野は、日本有数の米の産地です。

庄内平野は、鳥海山などの山々に囲まれ、最上川などのいくつかの川が流れ込む地形になっています。

米作りには大量の水が必要です。庄内平野は水を豊富に使うことができます。この豊かな水が、米作りを支えています

庄内平野はどうして米作りに適しているのだろうか

これで完璧！庄内平野の自然条件②

↑ 広大な庄内平野

山形県の庄内平野は、日本有数の米の産地です。

庄内平野は、平野という土地で、平らな広い土地です。

広いところでは東西に 16km、南北に 50km あります。これは、東京ドーム 8500 個分に相当する広さだそうです。

土地が平らでとても広いので、効率よく米作りをすることができます。

庄内平野はどうして米作りに適しているのだろうか

これで完璧！庄内平野の自然条件③

↑ 春から秋の日の当たる時間が長い

↑ 昼夜の気温差が大きい

山形県の庄内平野は、日本有数の米の産地です。

庄内平野は、左のグラフから、春から秋にかけて日照時間が長いことが分かります。この長い日照時間のおかげで、稲がすくすく育ちます。

また、庄内平野は昼夜の気温差が激しいです。気温差が激しいと、植物はでんぷんをため込みやすくなります。そのため、粘りが強く、甘い米を作ることができるのです。

庄内平野はどうして米作りに適しているのだろうか

これで完璧！庄内平野の自然条件④

↑ 南西からの乾いた季節風

↑ 季節風の影響で稲が揺れる

山形県の庄内平野は、日本有数の米の産地です。

米が育つ6～8月ごろ、日本は南西から季節風が吹きます。庄内平野には、乾いた風が吹きます。

この乾いた風は、雨などで濡れた稲を乾かし、病気から守ります。また、稲が揺れることで、ほとんどの葉に日光が当たり、ムラなく稲を育てることができます。

この季節風のことを、庄内平野の日知たちは「神の風」と呼ぶこともありました。

庄内平野はどうして米作りに適しているのだろうか